

2018年度 佐久長聖高校 学校関係者評価

評価 A:十分できている B:概ね十分できている C:やや不十分 D:不十分 E:評価できない

分野	評価項目	評価の観点	評価	今後やるべきこと、実施に当たっての問題点
学 習 指 導	授業内容の充実	1 授業評価を適宜行い、その内容を踏まえて授業の方法を工夫・改善して、生徒の学ぶ意欲を喚起しているか。	B	進度確保のため講義調になりがちな点は注意してほしい。／入試に向けた現状把握を適切に。／問題演習の行い方を常に改善してほしい。
	教科指導力の向上	2 研究授業のほかに教員相互の授業参観や相互批評をしているか。アクティブラーニングの手法を試みているか。	C	関心のない先生がいないように意思統一を図り実践してほしい。／他教科の同じクラスを持っている先生の授業参観を行う努力をしてほしい。
		3 各種の模試・検定などの客観的データを教科会や各自で分析し、生徒の学力に応じた授業を行っているか。	C	教科会での意見交換の場をもっと増やしてほしい。／土曜日の扱い方をもっと工夫すべき。／成績上位者に対する指導を研究してほしい。
	学習習慣の確立と自主的な学びへの導き	4 (学級担任として)生徒の学習状況・学習時間を把握し、面接によって個々に即した適切な助言をしているか。	C	結果につながる助言ができるよう研鑽してほしい。／放課後などもっと生徒とコミュニケーションをとれる時間を確保できるよう努力してほしい。
		5 (教科担当として)学力や時期に応じて質的・量的に適切な課題を出して、日々の学習や計画的学習を促しているか。	B	進路保障の観点から学力向上には全力で当たってほしい。／先を見据えた計画的学習を促す努力を望む。
		6 生徒のタブレットPC利用を促すような 学びの課題や機会を、工夫して提供しているか。	C	ネット上の情報に対する判断力の育成が必要。／タブレットPCの修理に時間がかかりすぎないような体制づくりを願う。
進 路 指 導	希望進路の実現	7 学級担任・教科担当として3年間を見通した指導をしているか。学年会・教科会がそのために機能しているか。	B	ポートフォリオへの対応はまだ不十分。／学年会や教科会が単に連絡会になってしまわないように。推薦入試利用者が増加しており面接指導の在り方の再考が必要である。
	新しい時代を展望できる進路指導	8 社会への視野を広げ、自分の人生の目標を考える機会としてのキャリア教育を、計画し、実施しているか。	B	自分の人生を考えることの難しさを感じている生徒自身に視野を広げる機会を提供してほしい。キャリア教育によって授業やLHRをつぶさないように工夫してほしい。
生 活 指 導	自律的生活の育成	9 服装・挨拶など生徒の自律的取り組みを促しているか。モラルや思いやりにつながる、心の指導をしているか。	B	服装や化粧などの範囲まで注意すればよいのかあいまい。／個を通ず場面と社会的にふるまう場面のバランスについての指導を望む。
	生徒相談といじめの発見・対処	10 担任・学年・部活顧問・館職員・生徒指導係等が連携を取りながら、適切に生徒相談に当たっているか。	B	情報の共有やチームとしての対応という面で課題がある。／寮から担任への情報提供がおろそかにならないように情報交換に留意してほしい。
		11 現在の「いじめ」の定義(注)に基づいていじめを認知し、職員間で情報を共有して適切に対応しているか。	B	生徒個々の変化を敏感に察知する必要がある。／教師が気を付けてもいじめの発見は難しいので日常生活アンケートも役立ててほしい。
	安心・安全を守る指導、安全を考えさせる指導	12 校内の安全点検や日常の目配りを重視し、事故や危険を防止できているか。	C	外部からの侵入に対するセキュリティの強化は重要。／職員が目が行き届きにくい場所が多いので必要な場所への防犯カメラの設置を検討してほしい。
13 校外での交通安全や防犯(インターネットによるトラブルの回避も含む)についての指導をしているか。		C	インターネットは禁止ではなく使う中での指導をもっと行ってほしい。／いつ被害者になるかもしれないという当事者意識を高める指導の徹底を。	
開 か れ た 学 校	開かれた学校づくり	14 保護者や地域の方の意見・要望をくみとり、必要なことには、すばやく、的確に対応しているか。	C	生徒の校外での言動が注目されることをもっと認識させてほしい。／日々多忙であっても対応は迅速に行ってほしい。
		15 電子媒体や紙媒体を通して、各種の情報を生徒・保護者や一般に向けて、定期的に提供しているか。	B	HPIに同窓生からの情報をもっと掲載できるとよい。／写真をもっと配信してほしい。／クラス間での差を少なくする努力をお願いしたい。
		16 地域の方や校外の団体等と交流できる機会を、生徒に提供しているか。学校として交流に寄与しているか。	C	文化祭をより充実させて地元の方にもっと来校してもらおう努力をしてほしい。

(注)一定の人的関係がある生徒の中で、一方が他方に心理的・物理的な影響を与える行為をして、対象となった生徒が心身の苦痛を感じていること。一時的なものや謝罪して解決したのも、「いじめであった」と考える。